

テーマ	地域・世代を超えた交流で地域活性化を図り耕作放棄地の発生を抑制		
実施年度	平成24年度	取組内容	農事組合法人
取組主体	農事組合法人ひまわり	活用事業等	農地集積協力金 県単ステップアップ支援事業
取組の経緯	<ul style="list-style-type: none"> 日向市は宮崎県の北部に位置し、温暖多雨で日照時間に優る地域。日向市は農業を基幹産業とするほか、宮崎県の工業地帯で、細島港という天然の良港がある。 庄手・梶木地区は、市の北部に位置し、水田が中心の稲作地帯。高齢化や農業機械への投資負担などで営農継続が懸念される中、日向地域担い手育成総合支援協議会が平成17年に実施したアンケートの結果を踏まえ、話し合いが重ねられ平成19年に庄手・梶木地区営農組合が設立された。 営農組合は、農地・水・環境保全向上対策、特別栽培米、エコファーマー認定者のほか、平成20年には良質・良食味米コンクール(早期水稻の部)で1等を取るなど、積極的な取り組みと成果を挙げてきたが、任意団体では限界があるとして、農事組合法人ひまわりを平成23年4月に設立。 		
取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> 「天・地・水・生きる環境 みんなで集う衆楽栄農」をスローガンに農地の利用調整、農地の有効利用に取り組んでおり、平成24年6月に当法人及び認定農業者を、中心とする経営体に位置づけた「人・農地プラン」が作成されている。 「環境に優しい農業」に取り組む、エコファーマー認定や日向市環境保全型農業推進協議会の認定を受け、特裁米の生産に取り組む、安全安心な米を提供している。 農作業体験(ワクワク田植え体験、ワクワク稲刈り体験)にも取り組んでおり、NPO法人を通じたPRを行うことで100名程が参加、再訪者も増加するなど、活動が定着。 		
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> 管内で初めての集落営農法人であり、これをモデルに近隣でも集落営農法人が設立されるなど、周辺も含めた農業振興の牽引役となっている。 農地・水・環境保全向上対策や田植え体験、稲刈り体験、水生動物調査等に取り組むことで、耕作放棄地の発生抑制はもとより、地域間、世代間交流が進み、地域の活性化のほか、子どもの顔を覚えることで防犯面でも効果を上げている。 		
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> 農地が粘土質であり、裏作の作物選定が課題であるが、裏作を定着させ、収益増による法人の経営の安定化を図ることが今後の課題となっている。 販路拡大が課題であり、このためインターネットを活用したPR等に取り組む。 		
事例写真	 <p>稲刈り体験の様子</p>  <p>集落の農地とふるさとを守る取組の啓発の看板</p>		
連絡先	日向市農業水産課 TEL 0982-52-1442		